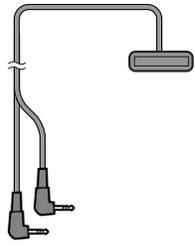


TV・FM多重アンテナの取り付けかた

取り付ける前に

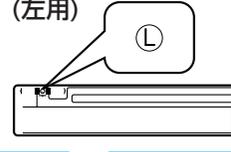
- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり取り付けてください。
- 車種によって、取り付けても性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを取り付ける位置(左右の位置)を確認してください。(貼りなおせません) 付属のクリーナー(TV・FM多重アンテナ用)で、設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

47 TV・FM多重アンテナコード(左用)

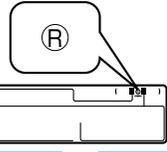


<車内から見た図>

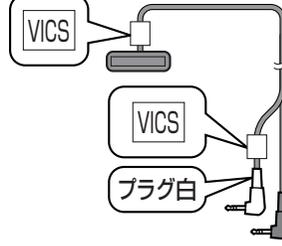
46 TV・FM多重アンテナ(左用)



46 TV・FM多重アンテナ(右用)



47 TV・FM多重アンテナコード(右用)



左右をご確認ください。

左用のアンテナの取り付けかたを例に説明しています。右用のアンテナも、左側と同様に取り付けてください。

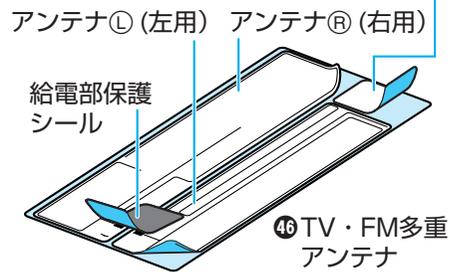
1 フロントウィンドウにアンテナを貼り付ける

- 折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。断線の原因になります。

① 霧吹きなどで、車内側のガラス面に均一にせっけん水を吹き付ける。

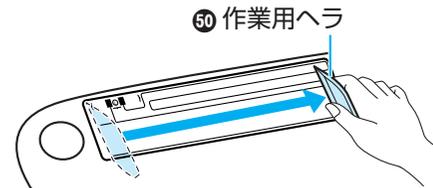


② アンテナをはがし、貼り付ける。コードの貼り付けかたの説明書き



③ 作業用ヘラでアンテナの気泡を取り除いて、密着させる。

- アンテナ周辺のせっけん水を拭き取り、十分に乾燥させてください。(2~3時間放置する。)



■ 取付許容範囲 (部) について

国土交通省の定める保安基準*に適合するように、アンテナの給電部は、取付許容範囲内に取り付けてください。

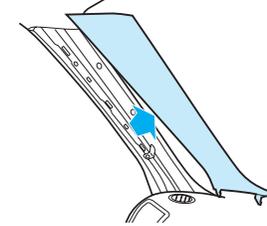
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、下図のとおりに取り付けてください。(左右逆に貼らないでください。)

*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。点検シールなどには重ねないでください。



2 アンテナコードを取り付ける

① 車の内張り(ピラーのカバー)を取りはずす。



② アンテナコードの給電部を、アンテナに貼り付ける。

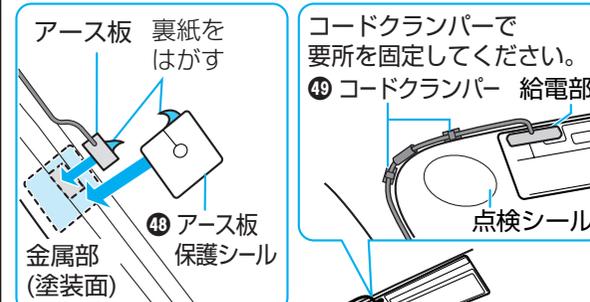


47 アンテナコード

46 TV・FM多重アンテナ

③ アース板をピラーの金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。
- 配線後、カバーをもとに戻してください。



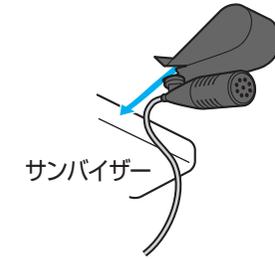
④ アンテナコードをナビゲーション本体に接続する。(裏面)

- ナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。

ボイスコントロールマイクの取り付けかた

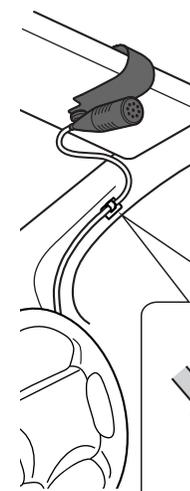
- 認識率がよくなるように、サンバイザーの中央または右端(左ハンドル車は左端)に取り付けてください。
- 発声する人から20 cm~40 cm離してください。マイクからの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると誤認識の原因になります。

1 車のサンバイザーにマイクを取り付ける。



- 無理に取り付けしないでください。クリップを破損する場合があります。

2 コードを引き回す。



コードクランパーで要所を固定してください。

34 コードクランパー

お願い

- 必ず、付属のマイクを使用してください。
- ノイズを避けるため、他のコードとは離してください。

GPSアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

車外に取り付ける (推奨)

ルーフの平らな面に取り付けてください。

① GPSアンテナ
④ 保護シート
裏紙をはがす

※ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。
トランクリッド開閉時に、コードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせてください。

⑤ コードクランパー
コードの要所を固定する。

GPSアンテナのコード
裏紙をはがす
⑫ 防水ゴム(裏面)
裏返す

トランクのゴムパッキンより低い位置に貼る。
トランクのゴムパッキンにあたるように貼り付ける。

お願い

- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

ダッシュボードやリアトレイの上に取り付ける場合は

中央部のガラス付近に水平に取り付けてください。

① GPSアンテナ
⑩ 金属シート
裏紙をはがす

⑬ コードクランパー
要所を固定する。

20 cm以上

コードをドライバーなど先のとがったもので押しすぎないでください。コードが傷つき故障の原因になります。

お知らせ

- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のウインドウガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(取扱説明書)にご相談ください。

お願い

- 金属シートは、必ず、付属の金属シートを使用してください。折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障したり、使えなくなる場合があります。

オンダッシュモニターの取り付けかた

取り付ける前に

オンダッシュモニターをスタンドに仮止めし、取り付ける位置を確認してください。
貼りなおすと粘着力が弱くなります。

- 付属のダッシュボード用クリーナーで設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

■ 取付位置について

- 指定のスタンドを使用し、はずれたり落下しないように、しっかり取り付けて安定させてください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。落下する原因になります。

- 貼付面全体が密着しないような強い曲面
- 不安定な場所
- 約30°以上傾いた場所(推奨15°以下)
- 垂直な面

スタンドの破損に至る場合もあります。

1 スタンドからシューを取りはずす。

シュー
② スタンド

スタンドのレバーを押しながらシューを取りはずす

2 スタンドをダッシュボードの平らな面に取り付ける。

⑮ スタンド固定ねじ(φ3×12 mm)
(4~5カ所)
安全のため、必ず固定してください。
ダッシュボードに穴が開きます。

裏紙をはがす

3 オンダッシュモニターとスタンドカバーを取り付ける。

⑳ オンダッシュモニター

⑳ スタンドカバー
裏紙をはがす

しっかりと締める

モニターのみぞを押し込む。

かぶせて貼り付ける

4 向きと角度を調整する。

角度調整ねじゆるめると、向きと角度を調整できます。

調整後、しっかりと締める

5 コードを引き回す。

コードクランパーで要所を固定しながら、コードを引き回してください。
より安定させるために、オンダッシュモニターをダッシュボードに接触させ、クッション材を貼り付けて安定させることをお奨めします。
● 振動でノイズが発生する原因になります。

④ コードクランパー

⑫ クッション材

⑫ クッション材

— 取付例 —

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
ナビゲーション本体関係		
1	ナビゲーション本体	1
2	ベース金具	2
3	L型金具	2
4	サイドパネル左右	各1
5	粘着テープ (35mm×80mm)	2
6	座付きねじ (M5×6mm)	2
7	座付きタッピンねじ (φ6×20mm)	4
8	座付き六角ナット (M5)	4
9	皿ねじ (M5×6mm)	4
10	スペーサー/両面テープ	各2
GPSアンテナ関係		
11	GPSアンテナ (コード6m)	1
12	防水ゴム (GPSアンテナコード用)	1
13	金属シート(車内取付用)	1
14	保護シート(車外取付用)	1
15	コードクランパー	5
リモコン関係※		
16	リモコン	1
17	単3形乾電池	2
18	リモコンホルダー	1
19	両面テープ (20mm×50mm)	1
モニター関係		
20	オンダッシュモニター	1
21	ジャンクションボックス	1
22	スタンド	1
23	スタンド固定ねじ (φ3×12mm)	5
24	スタンドカバー	1
25	クッション材	1
26	ベース金具	2
27	L型金具	2
28	粘着テープ (35mm×80mm)	2
29	コードクランパー	3
30	座付きタッピンねじ (φ6×20mm)	4
31	座付き六角ナット (M5)	4
32	マジックテープ	2

※リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書をご覧ください。

番号	品名	数量
ボイスコントロールマイク関係		
33	ボイスコントロールマイク (コード6m)	1
34	コードクランパー	5
コード関係		
35	電源コード (ナビゲーション本体用)	1
36	車速信号中継コード(桃色: 5m)	1
37	電源コード (ジャンクションボックス用)	1
38	モニター接続コード(2.5m)	1
39	RGBコード (4m)	1
40	音声コード(ナビゲーション本体用) (20cm)	1
41	音声コード (ジャンクションボックス用) (15cm)	1
42	RCAコード (4m)	1
43	圧着式コネクター	4
44	コードクランパー	7
45	ピーコンプラグ保護カバー	1
TV・FM多重アンテナ関係		
46	TV・FM多重アンテナ左右	各1
47	TV・FM多重アンテナコード左右 (4.2m)	各1
48	アース板保護シール	2
49	コードクランパー	10
50	作業用ヘラ	1

その他の付属品

品名	数量
クリーニングクロス (液晶ディスプレイ用)	1
クリーナー (ダッシュボード用)	1
クリーナー (TV・FM多重アンテナ用)	1

主な添付品

品名	数量
基本操作ガイド	1
取扱説明書	1
取付説明書	1
仮保証書兼ユーザー登録ハガキ	1
取付ゲージ	1
デジタルチューナーとの接続について	1

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。(※裏面)
また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。(※裏面)

作業の順序

- 1 バッテリーの⊖端子をはずす。
- 2 配線する。
 - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
 - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 3 取り付ける。
- 4 バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

松下電器産業株式会社

パナソニック オートモーティブシステムズ社

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

お客様ご相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729

一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHSなど)

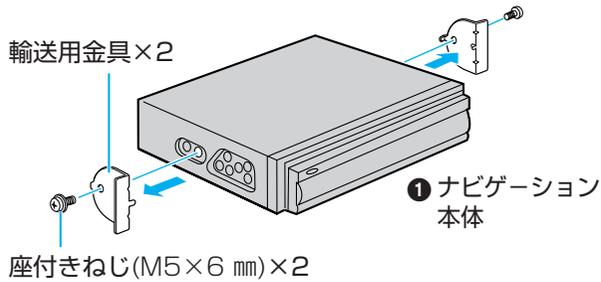
FAX 045-938-1573

受付 9:00~17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

ナビゲーション本体の取り付けかた

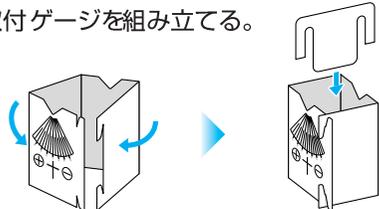
準備 ●ナビゲーション本体の輸送用金具をはずしてください。



取りはずした座付きねじは、ナビゲーション本体の取り付けに使用することがあります。

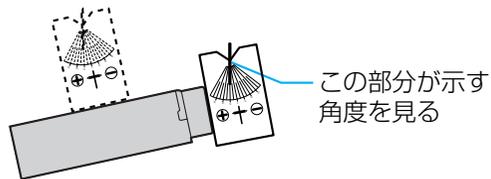
■ 取付角度を測る

① 取付ゲージを組み立てる。



② 車体が水平になる場所で取付ゲージをナビゲーション本体の前面に図のようにあて、本体の取付角度を測る。

- 床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーション本体の上に置いて、角度を測ってください。



③ 本体取付角度を設定する。(裏面)

お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。
- ナビゲーション本体を取りはずし、再度取り付ける際にも取付角度設定は必要となります。取付ゲージは大切に保管してください。

取り付け部の寸法・角度の確認

オーディオスペースがDINサイズまたは2DINサイズでない場合は、販売店にご相談ください。
 DINサイズ (横180 mm×縦50 mm)
 2DINサイズ (横180 mm×縦100 mm)

使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

- **トヨタ車 (DINサイズ採用車)**
純正カーオーディオを固定していたブラケットをご使用ください。
- **日産・本田・マツダ車 (DINサイズ採用車)**
別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。
- **上記メーカー以外の車**
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

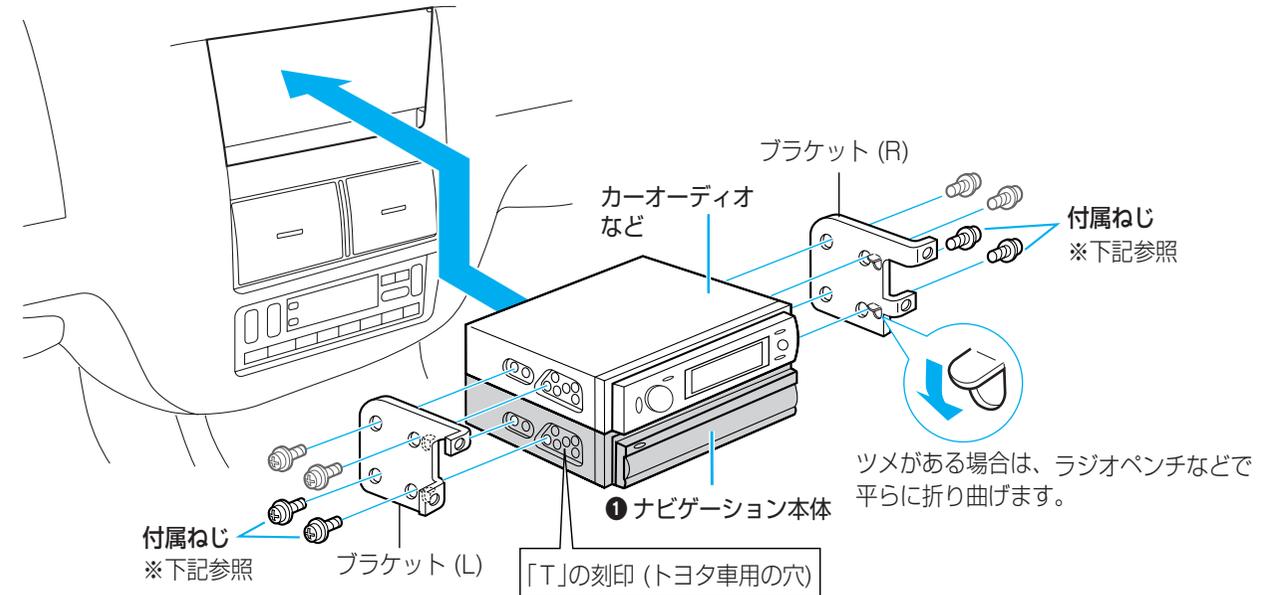
お願い

- 水平に対して、30°以下の角度で取り付けてください。取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。30°を超える場合は、床やトランクなどに取り付けてください。
- **アマチュア無線機などのアンテナの近くに取り付けないでください。**画像が乱れる原因になります。

お知らせ

- 年式、車種、グレードにより、専用キット(別売)が必要な場合がありますので、販売店にご相談ください。
- 車両側との配線が容易にできる専用の中継コード(別売)がありますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボードの形状や寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

取付例 2DINサイズ採用車



付属のねじは、取り付け金具(ブラケット)の穴形状に合わせて選んでください。

車両側ブラケット



⑥ 座付きねじ × 2 (M5 × 6 mm)
残りの2本は、輸送用金具を固定していたねじを使用してください。

車両側ブラケット



⑨ 皿ねじ × 4 (M5 × 6 mm)

お願い

- 故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- センターコンソールに無理に押し込まないでください。配線(コネクターやコード)に負担がかかり、接続不良の原因になります。

ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。

⑥ 座付きねじ × 2 (M5 × 6 mm)

⑩ スペーサー/両面テープ

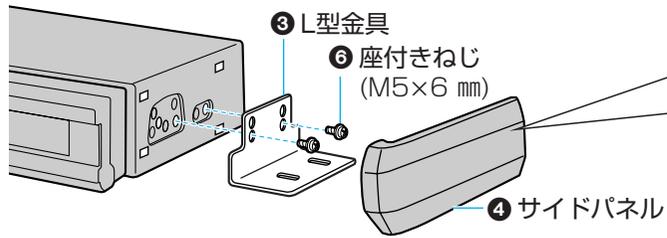


車両側ブラケット

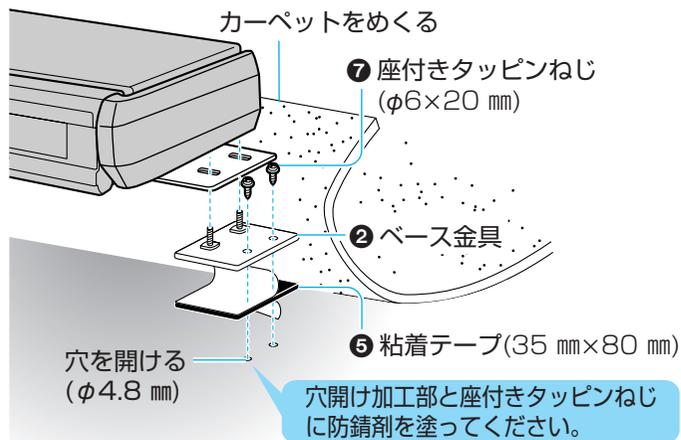
ナビゲーション本体をトランクや床に取り付ける場合は

1 L型金具をしっかりと取り付ける。

※ 反対側も同様に取り付けてください。



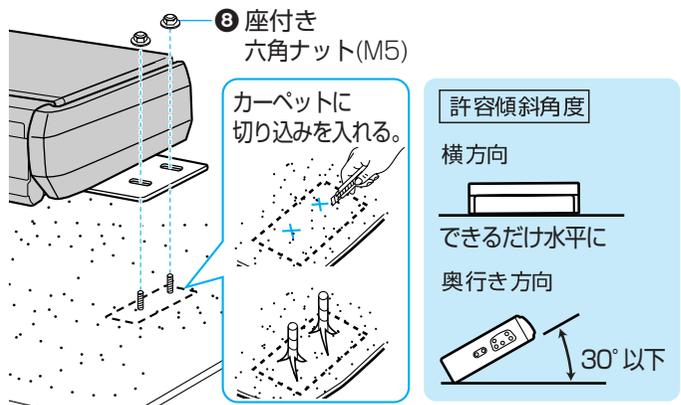
2 ベース金具を床にしっかりと取り付ける。



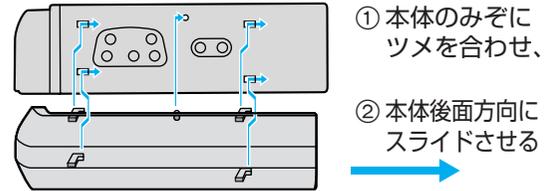
3 カーナビ本体をベース金具にしっかりと取り付ける。

ナビゲーション本体の傾きを許容傾斜角度（下記参照）になるように調整し、固定する。

※ 取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。

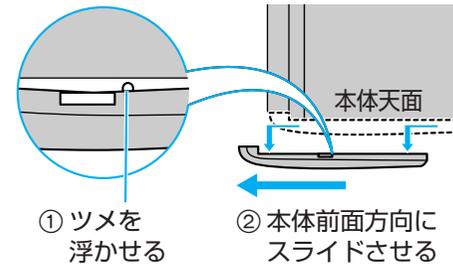


サイドパネルの取り付けかた



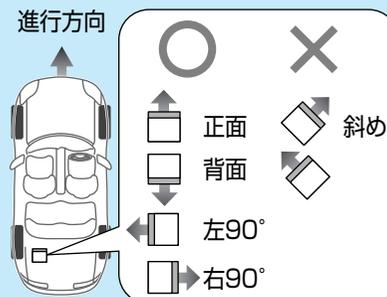
● コンソールボックス以外の場所に取り付けるときは、ゴミ、ほこりなどが入らないように、必ずサイドパネルを取り付けてください。

サイドパネルの取りはずしかた



お願い

- 以下のところには、取り付けしないでください。故障の原因になります。
 - ・水のかかるところ
 - ・足で踏まれるところ
 - ・ほこりの多いところ
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
- 連続して使用すると、ナビゲーション本体が温かくなりますので、まわりに物などを置かないでください。
- トランク、車室内の床やコンソールボックス内など、しっかりした場所に付属の金具を使用して、しっかりと車両に固定してください。誤動作、故障の原因になります。
- なるべく水平になるように取り付け、進行方向に対し、直角または平行の向きで取り付けてください。(※ 下図)

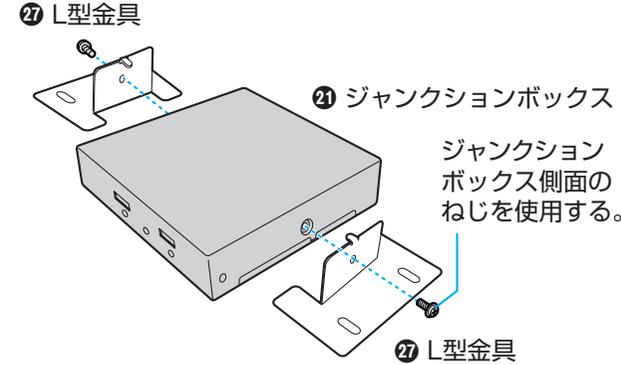


ジャンクションボックスの取り付けかた

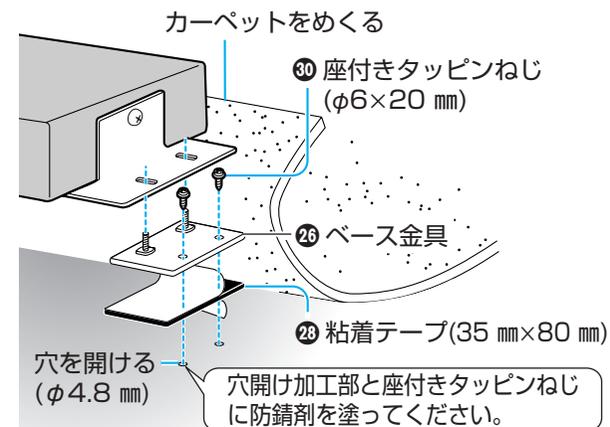
専用の金具で取り付ける（推奨）

1 L型金具を取り付ける。

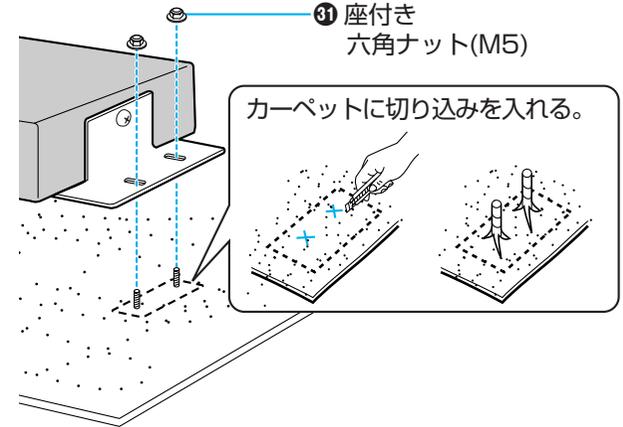
● 必ず側面のねじをお使いください。



2 ベース金具を床に取り付ける。



3 ジャンクションボックスをベース金具に取り付ける。



お願い

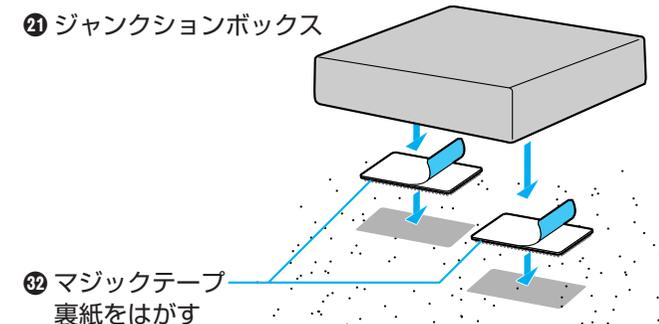
- 以下のところには、取り付けしないでください。故障の原因になります。
- 水のかかるところ
 - 足で踏まれるところ
 - ほこりの多いところ
 - ヒーターのダクトや発熱する物の近く
 - 直射日光のあたる場所
 - カーペットの下など熱がこもるところ

マジックテープで取り付ける場合は

付属のマジックテープを使用し、カーペットなどに取り付ける。

お願い

- 本機底面の銘板を隠さないように貼ってください。



接続する各機器の説明書も、よくお読みください。

別売 ETC車載器

品番：CY-ET900D (例)

料金所でETC拡大図を表示したり、料金履歴を確認できます。

- 別売のETC車載器(CY-ET900D/CY-ET900KD/CY-ET805D)のほかに、ETC車載器接続コード(CA-EC31D)が別途必要です。

別売 ETC車載器 (CY-ET900D)

別売 ETC・ナビ接続コード (CA-EC31D)

光デジタル入力 接続端子 (OPTICAL-IN)

ETC車載器 接続端子 (ETC)

デジタルチューナー用通信コード

① ナビゲーション本体 (後面)

D2映像入力 接続端子 (D2-IN)

ビーコンアンテナ 接続端子 (BEACON)

映像入力コード VIDEO IN

ナビミュートコード (橙) NAVI MUTE

リアアウトコード フロント PRE OUT FRONT



接続後、必ずコネクタへ本機に付属のカバーをかぶせてください。(はずれ防止・コネクタ保護のため)

- CY-TBX55Dに付属のカバーは使用できません。

別売 VICSビーコンユニット

品番：CY-TBX55D

電波/光ビーコンからVICS情報を受信できます。

お知らせ

- 電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコンを受信できないことがあります。販売店にご相談ください。
- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンを受信できないことがあります。販売店にご相談ください。

別売 VICSビーコンユニット (CY-TBX55D)

汎用 車載用ビデオ

車載用ビデオを接続できます。

- 必ず、「外部映像入力」を「ビデオ入力」に設定してください。(取扱説明書：「音声/映像の設定を変える」)

ビデオ出力

汎用 車載用ビデオ

① ナビゲーション本体 (後面)

映像入力コード VIDEO IN

音声入力コード AUDIO IN

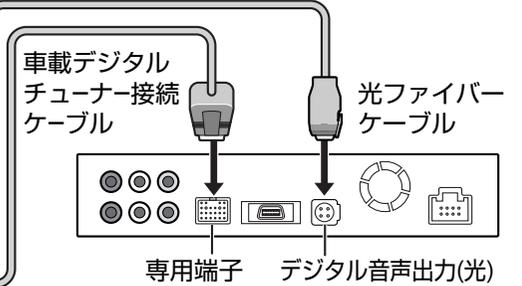
別売 AV接続コード(映像/ステレオ音声) [L-RAV30D(3 m)]/L-RAV60D(6 m)]

別売 デジタルチューナー

品番：TU-DTV100

デジタルチューナーを接続し、高画質なデジタル放送を楽しめます。

- デジタル放送を見るには、別売のデジタルチューナー(TU-DTV100)のほかに、地上デジタル放送受信用のアンテナ(TY-CA210DTF/TY-CA200DT)、接続ケーブル(CA-LDTV60D)などが別途必要です。
- 2台目のモニターを接続する場合は、組み合わせるモニターによって接続のしかたが異なります。詳しくは、別添付の「デジタルチューナーとの接続について」をご覧ください。



別売 車載デジタルチューナー・ナビ接続専用ケーブル (CA-LDTV60D)

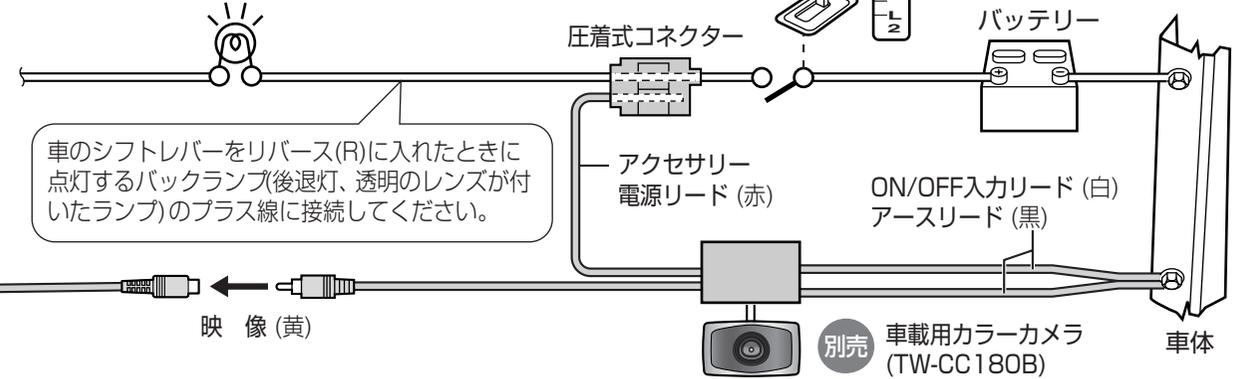
別売 車載用地上・BS・110度CS デジタルチューナー(TU-DTV100)

別売 車載用カメラ

品番：TW-CC180B (例)

車載用のバックカメラを接続できます。

- 必ず、「外部映像入力」を「カメラ入力」に設定してください。(取扱説明書：「音声/映像の設定を変える」)



別売 2台目のモニター

品番：TR-M70WS5 (例)

2台目のモニターに本機の映像を表示できます。

- デジタルチューナーを接続する場合は、組み合わせるモニターによって接続のしかたが異なります。詳しくは、別添付の「デジタルチューナーとの接続について」をご覧ください。

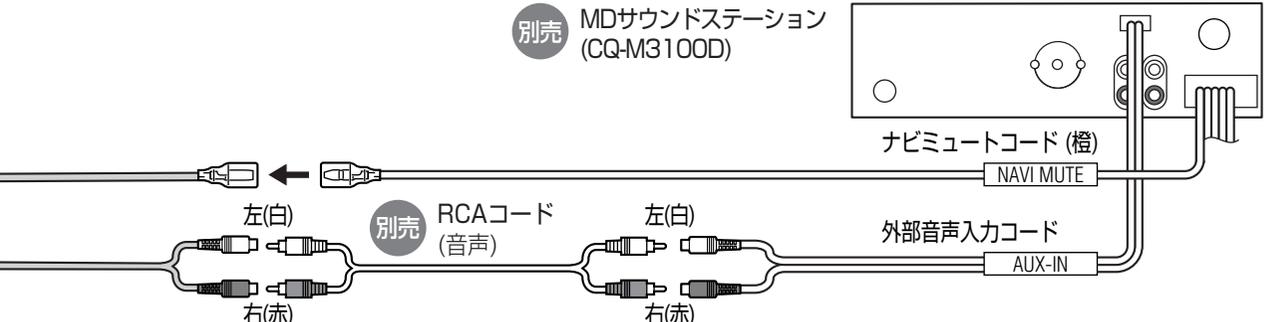


別売 車載用7V型ワイド液晶カラーモニター (TR-M70WS5)

別売 カーオーディオ

品番：CQ-M3100D (例)

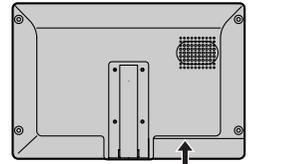
別売 MDサウンドステーション (CQ-M3100D)



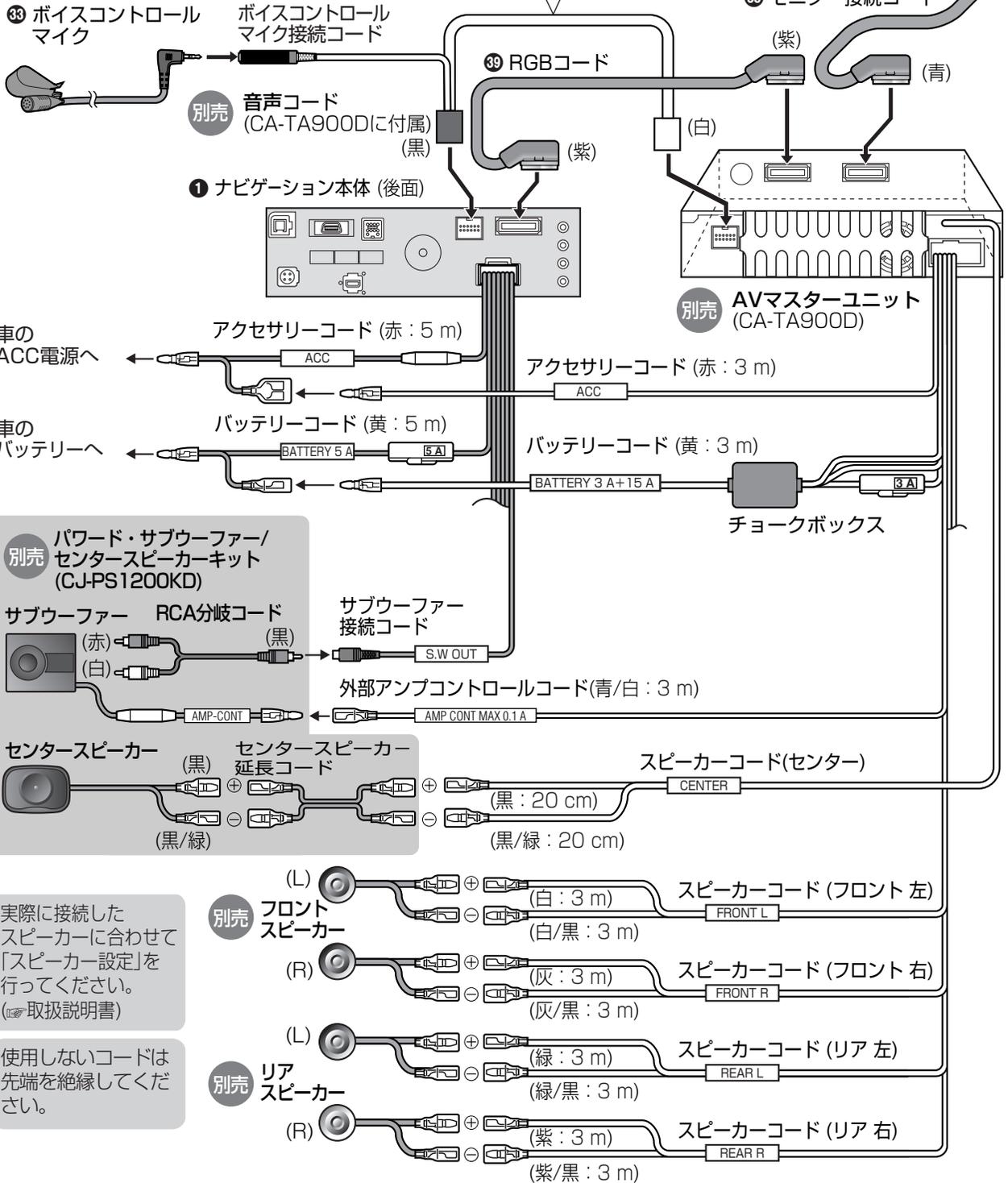
ジャンクションボックスを別売のAVマスターユニットに取り替える場合、下記の本機付属品は使用しません。

- ②1 ジャンクションボックス
- ③7 電源コード(ジャンクションボックス用)
- ④0 音声コード(ナビゲーション本体用)
- ④1 音声コード(ジャンクションボックス用)
- ④2 RCAコード

②0 オンダッシュモニター



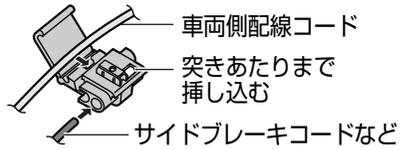
必ず、黒の端子をナビゲーション側、白の端子をAVマスターユニット側に接続してください。逆に接続すると、音声認識が正しく動作しません。



実際に接続したスピーカーに合わせて「スピーカー設定」を行ってください。
(取扱説明書)

使用しないコードは先端を絶縁してください。

■圧着式コネクターの取り付けかた

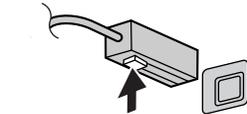


■ロック付きコードの取りはずしかた

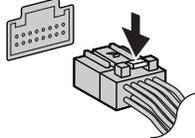
矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。

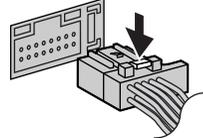
① GPSアンテナのコード



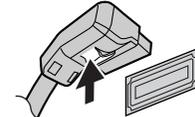
⑤ 電源コード (ナビゲーション本体用)



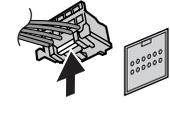
⑦ 電源コード (ジャンクションボックス用)



⑧ モニター接続コード ⑨ RGBコード



⑩ 音声コード ⑪ 音声コード



イルミネーションコード
(橙/白：5 m)



端子を切り離す

サブウーファー接続コード (15 cm)



(黒)

⑬ 圧着式コネクタ

→ 車の照明電源へ

映像出力コード (15 cm)



映像 (黄)

→ 別売のサブウーファーを接続する。

→ 2台目のモニターの映像入力端子に接続する。

■車速信号コードを接続する

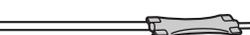
車速信号コード(桃色：15 cm)



あまったコードは切らずに束ねてください。

車速信号取り出し箇所は、車種・年式・エンジン型式によって異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。必ず、付属の車速信号中継コードを使用してください。

⑬ 車速信号中継コード (桃色：5 m)



エンジンコントロール
コンピューターユニット (ECU)

⑭ 圧着式コネクタ

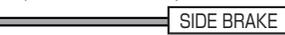


この部分は回路保護部品です。切り離したりせず、必ずこの状態のままに車速信号取り出し箇所の方向に接続してください。

■サイドブレーキコードを接続する

サイドブレーキコードは必ず接続してください。正しく接続し、サイドブレーキを引いていない場合には、操作が制限されます。

サイドブレーキコード
(若葉色：5 m)



端子を切り離す

サイドブレーキ
スイッチ

⑭ 圧着式コネクタ



サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。

■リバースコードを接続する

リバースコード(紫/白：6 m)



端子を切り離す

車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ(後退灯、透明のレンズが付いたランプ)のプラス線に接続してください。

⑭ 圧着式コネクタ



バッテリー

車体

お願い

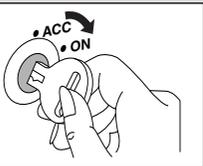
- コネクタは確実に差し込んでください。
- コードは高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで固定してください。
- ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コード、FMトランスミッター用アンテナはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。

- ETC車載器接続端子に、モバイルコミュニケーションユニットやマルチメディアハブなどは接続しないでください。接続しても動作しません。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップをはずさないでください。

取り付け・配線の確認

① 電源を入れる

1 車のエンジンをかける。またはACCに入れる。

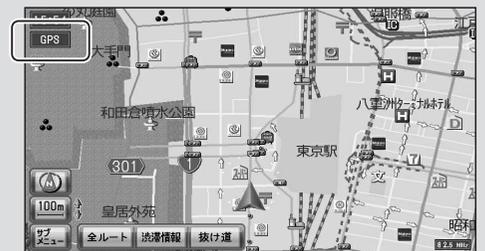


- ナビゲーション本体の電源が入ります。
- オープニング画面表示後、警告画面が表示されます。
- オープニング画面表示中は、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。

2 注意事項を確認して、「確認」にタッチする。



3 見通しの良い場所でGPS信号 (GPS) を受信していることを確認する。



- GPSマークが表示されないときや点滅が継続するときは、受信状態をご確認ください。(取扱説明書)

本機を正しく動作させるため、下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

② 取付角度設定・車両信号情報・拡張ユニット情報の確認をする

1 MENU を押す。



●メニュー画面「行き先」が表示されます。

2 情報・設定 にタッチする。



●メニュー画面「情報・設定」が表示されます。

3 システム情報 にタッチする。



4 取付角度設定 / 車両信号情報 / 拡張ユニット情報 をタッチする。



5 取付角度設定 を設定する。



取り付け角度を設定し、「決定」にタッチする。
調整範囲：-30° ~ +30° (5° ステップ)

ナビゲーション本体を取り付けた向きに応じて、下記の範囲で設定してください。

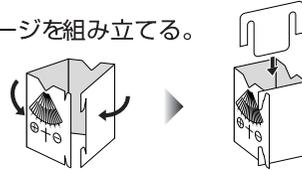


お願い

●SALASによる、立体駐車場などでの自車位置測位の精度を向上させるため、必ず設定してください。(お買い上げ時は、「未設定」となっています。)

■ 取付角度を測る

① 取付ゲージを組み立てる。



② 車体が水平になる場所で、ナビゲーション本体に取付ゲージを下図のようにあて、本体の取付角度を測る。

- ナビゲーション本体の向きに関わらず、⊕マークを車の進行方向に向けて測ってください。
- 床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーション本体の上に置いて、角度を測ってください。



お願い

●取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。

● 車両信号情報 を確認する。



① 「サイドブレーキ」「GPSアンテナ」「スモールランプ」「リバース」「スピード」「ACC電圧」を確認する。

② 「パルスリセット」にタッチして、「車速パルス」をリセットする。
同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」もリセットする。

③ 現在地画面を表示させ、平均時速20 km以上で見通しの良い場所をしばらく(60分程度)走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」を確認する。

サイドブレーキ	サイドブレーキを引くとON表示に変わりますか？
GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
スモールランプ	車のライトスイッチをONにすると、ON表示に変わりますか？
リバース	シフトレバーをR (リバース)に入ると、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	12V (11~16V) になっていますか？

車速パルス※	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル1」になります。走行後、数字が変化していますか？ (レベル3が最大)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？
3Dセンサー補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

※車から出力される車速パルスに一定の係数(車速補正係数)をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

● 拡張ユニット情報 を確認する。



SDメモリーカード	SDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット※1	別売のVICSビーコンユニットを接続している場合、ON表示になっていますか？
ETCユニット※2	別売のETC車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？
デジタルチューナー※3	別売のデジタルチューナーを接続している場合、ON表示になっていますか？
チューナー・アンプ※4	別売のAVマスターユニットを接続している場合、ON表示になっていますか？

- ※1 CY-TBX55D
- ※2 CY-ET805D/CY-ET900D/CY-ET900KD
- ※3 TU-DTV100
- ※4 CA-TA900D

お知らせ

- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」をリセットしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・違うタイヤに交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 市街地などで渋滞・停車を頻りに繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。

以上で取り付け・配線の確認は終了です。不完全な項目があるときは、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。再度取り付け・配線を確認してください。

音声出力の設定をする

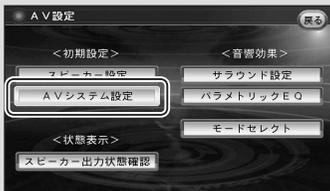
システム構成にあわせて、AV音声出力、FMトランスミッター、スピーカー設定の設定をしてください。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

AV音声出力/FMトランスミッター

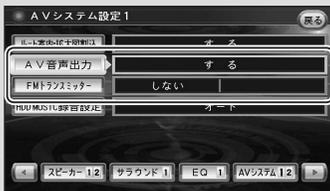
- 1 メニュー画面「情報・設定」から「AV設定」にタッチする。



- 2 「AVシステム設定」にタッチする。



- 3 「AV音声出力」/「FMトランスミッター」をタッチし、システム構成に従って設定する。(☞下記)

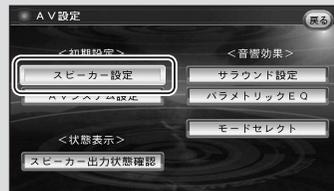


スピーカー設定

- 1 メニュー画面「情報・設定」から「AV設定」にタッチする。



- 2 「スピーカー設定」にタッチし、システム構成に従って設定する。(☞下記)



お知らせ

- 車種によっては、FMトランスミッターが受信しにくい場合があります。
- 別売のAVマスターユニット(CA-TA900D)接続時は、FMトランスミッター機能は使えません。
- FMトランスミッターがラジオ放送と混信するときは、FMトランスミッターの周波数を変更してください。(☞取扱説明書：「音声/映像の設定を変える」)
- FMトランスミッターを使用しないときは、「しない」に設定してください。(☞取扱説明書：「音声/映像の設定を変える」)

■ システム構成とAV設定一覧表

システム構成にあわせ、下表に従って設定してください。

- **A B C**の場合は、「スピーカー選択」をお買い上げ時の設定（下記）から変更しないでください。太字はお買い上げ時の設定

システム構成	AV設定			
	AV音声出力	FMトランスミッター	スピーカー選択	その他のスピーカー設定
A 本機単体で使用する	する	しない	FRONT: LARGE CENTER: NONE SUR: NONE SUB.W: NO	設定不要
B カーオーディオと組み合わせる(FMトランスミッター)	しない	する		
C カーオーディオと組み合わせる(AUX-IN)	しない	しない		
D 外部アンプと組み合わせる	しない	しない	スピーカー構成に従って設定する。*	
E CA-TA900Dと組み合わせる	設定はありません。		スピーカー構成に従って設定する。	

* 外部アンプにフロントスピーカーしか接続されていない場合は、本機と組み合わせられません。

「FRONT: LARGE」「CENTER: NONE」「SUR: NONE」「SUB.W: NO」に設定すると、外部アンプに接続されたスピーカーからは、ナビゲーションの案内音声が出力されません。(CA-TA900Dと組み合わせる場合は、上記設定でもCA-TA900Dに接続されたスピーカーから音声は出力されます。)